

## 再 評 価 調 査 書

I 事業概要					
事業名	砂防等事業（通常砂防事業）				
地区名	おとかわ 男川第7支川				
事業箇所	おかざきしかたよせちょう 岡崎市片寄町				
事業のあらまし	男川第7支川は岡崎市片寄町に位置し、保全対象として人家8戸、主要地方道 岡崎作手清岳線を抱える土石流危険渓流である。 土石流の危険性の高い渓流であり、人命などを守るため、土石流対策施設の整備を推進する。				
事業目標	<b>【達成（主要）目標】</b> ・人家8戸、主要地方道 岡崎作手清岳線を土砂災害から保全する。 <b>【副次目標】</b> ・なし				
計画変更の推移		事業採択時 (2019年度)	再評価時 (2022年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2019年度～2022年度	2019年度～2026年度	用地難航によるもの	
	事業費（億円）	3.5	4.0		
	経費内訳	工事費	3.0	3.2	
		用補費	0.2	0.1	
		その他	0.3	0.7	
事業内容	砂防堰堤工1基 渓流保全工40m	砂防堰堤工1基 渓流保全工40m			
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<b>【事前評価時の状況】</b> ・保全対象を土石流から保護する必要がある。 <b>【再評価時の状況】</b> ・保全対象に変化はない。 <b>【変動要因の分析】</b> ・なし			
	判定	<b>B</b> A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。 ※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。	<b>【理由】</b> 事業着手から必要性について変化はないため		

②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	【事業計画及び実績】								
		2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	合計
	工種 区分	調査・設計	←		→					
		用地補償		←			→			
		工事					←	←	←	→
		・堰堤工					←	←	←	→
		・溪流保全工						←	←	→
	事業費 (億円)	前回計画	3.0		0.5					3.5
		実績	0.8						0.8	
		今回計画	0.8		3.2				4.0	
	【進捗率】									
		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率					
		計画 【①】	実績 【②】	達成率 (%) 【②÷①】	計画 【③】	達成率 (%) 【②÷③】				
	堰堤工 (基)	1	0	0	1	0				
	溪流保全工 延長 (m)	40	0	0	40	0				
	事業費(億円)	3.5	0.8	23	4.0	20				
	工事費	3.0	0.0	0	3.2	0				
	用補費	0.2	0.1	50	0.1	100				
	その他	0.3	0.7	233	0.7	100				
	【施工済みの内容】									
	・なし									
	2) 未着手又は長期化の理由	・計画地において共有地があるため買収困難となり、工事着手が行えない状況があったため。								
	3) 今後の事業進捗の見込み	<b>【阻害要因】</b> ・用地整理の難航 <b>【今後の見込み】</b> ・阻害要因は解消されたため、工事着手し2026年には完了する見込みである。								
	判定	<b>B</b> A：これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。 B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける） ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。								
		<b>【理由】</b> 今後、速やかに用地交渉、工事着手することにより、計画通りの完成が見込まれるため。								
Ⅲ 対応方針										
	継続	中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。								

#### IV 事後評価実施の有無と主な評価内容

■対象（事業完了後5年目） 対象外

【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】

—

【主な評価内容】

・砂防堰堤や保全対象の状況から事業効果を確認する。